

平成27年（2015年）は、普照院が兵庫の地に建立されてから650年になります

「光陰矢の如し」と申しますが、英語にも同じ意味で『time flies like an arrow』ということわざがあります。洋の東西を問わず、「時」というものは無常に、しかもあっという間に過ぎ去っていくのでしょ

う。さて、私が住職に着任してから早 10 回目の年（丸 9 年）を迎えます。着任当時、私がお寺で成さねばならないと感じたことは、とにもかくにも当寺院の震災からの復興でした。その目標は、皆様のご助力のもと 5 年後の落成法要にて一段落を迎えましたが、それは外観的復興のみであり内面的な復興はまだまだ途上でありました。しかしまたそれから 5 年が経ち、おかげ様でお寺と檀信徒各家の皆様との相互理解など、その多岐に渡る内面の復興も最終段階に入ってまいりました。そしてその最終の作業に入るにあたり、皆様にご確認させていただきたいことがございますので、この寺報に掲載することに致しました。

その最終の作業とは、<sup>じいん かこちょう</sup>『寺院 過去帖』の再版修復です。

寺院過去帖とは、檀信徒さんのご先祖様をお供養するために亡くなった方の名前・忌日・行年齢等を記録してお申いする先祖記録帳のようなもので（右写真参照）、どの宗派の寺院にも存在するものです。もちろん当寺院にもこの過去帖がありますが、震災後の保管状況が良くなかったため雨漏り等による汚損が酷く、後世に残せる状態ではございませんでした。

そのため、住職に着任した時からこの寺院過去帖を修復することが、普照院の震災復興の最後の大きな仕事になるな、と感じておりました。そのためこれまで初めて檀信徒さんのお家をお参りさせていただく際には、位牌や過去帳を確認させてもらい、お寺の過去帖との整合性を確認してきました。そしてその調査期間も 10 年という節目の年をもって終了し、いよいよ新しい寺院過去帖を『複製再製本する準備』が整いました。

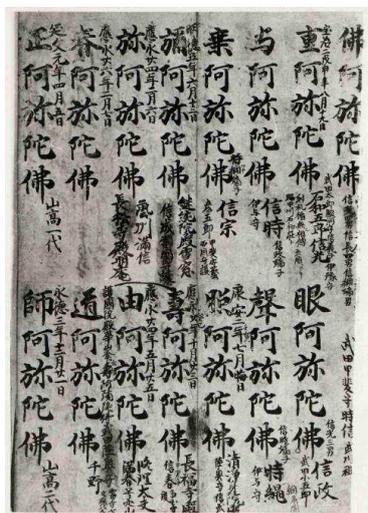
しかしまだ若干名、調査の出来ていないお家が残っております。ですから、ご心配な方は一度お寺にご連絡いただき可能な限りご自宅にお伺いさせてもらい、調査・確認をさせていただければと考えております。最終的にこの新しい寺院過去帖が完成するのは、約 5 年の歳月を要するかと思いますが、明治初期から記帳を始めますのでその頃にお亡くなりにな

ったご先祖様ですと記録が間に合わない可能性が出てきます。

「あれ？うちは大丈夫かな？」

「よく分からないが、うちは該当するのかな？」

と思われた方は、是非一度ご一報下さい。



## 神戸大空襲犠牲者の御位牌を、 戦後70年を期に作成し、お供養させていただきました

今年には終戦の半年前に行われた、米軍による神戸大空襲（犠牲者約 9000 名）から 70 年という節目の年です。私が毎年 3 月 17 日に参加させていただく当寺院のお隣・薬仙寺で行われる『神戸大空襲慰霊式』の参加者を見ておりますと、この空襲慰霊行事の風化を懸念せざるをえません。

しかしこの惨劇の記憶を少しでも後世に残すため、当寺院でも空襲犠牲者の御位牌を作成しお供養していくことに致しました。当寺院の過去帖を見ましても昭和 20 年の頁は例年の約 7 倍もあり、そのほとんどが 3 月 17 日にお亡くなりになった方々です。本当に戦争は、無益で決して繰り返してはならない人災です。南無阿弥陀仏

### 【平成 27 年のお寺行事（予定）】

月	日	行事	内容
3 月	21 日	春彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	24 日	春彼岸塔婆供養会	午後 2 時より、本堂にて。
4 月	8 日	釈迦生誕祭(花祭り)	花見堂を設置しております。随时お参り下さい。
8 月	7 日	盆墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	16 日	盆施餓鬼 ・初盆精霊供養法要	午後 2 時より、本堂にて。 併せて本年の初盆精霊をお供養します。
	23 日	地藏盆【地域行事】	午後 6 時より、本堂地藏尊前にて。
9 月	23 日	秋彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	26 日	秋彼岸塔婆供養会	午後 2 時より、本堂にて。
12 月	7 日	授戒会（別時念仏会）	午後 6 時より、時宗真光寺にて（予定）。
	8 日	成道会・永代墓納骨供養	舞子墓園にて。（時間未定）
	27 日	歳末墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。

\*変更等がある場合は、後日ご連絡させていただきますので、ご容赦下さいませ。

〔編集後記〕 記事にも書きましたが、今度の 6 月で私が住職に着任してから 10 年を迎えます。今思えば、平成 18 年に突如として私が住職になり、こんな若造が大丈夫か？と思われた方も多かったのではないのでしょうか。いや、正直私自身が一番、そう感じていたように思います。数年前に、「住職は 10 年経ってからが初心である。」とあるお寺の住職さんに教わりました。今ここでもう一度初心を思い返し、これからも謙虚に日々精進して参りますので、今後とも皆様の温かいご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。 合掌

発行：[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町 4-1-29

電話・ファックス 078-671-1787 ホームページ <http://fusyoin.com/>

● facebook ページ『普照院』、随時投稿中です。 



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげてください。

